

# 人権まちづくり新聞

## 協会会員の現地研修会

### ドイツ館・阿波十郎兵衛屋敷を訪ねて

十月四日、枚方人権まちづくり協会の現地研修会があり、会員等四八人が参加しました。

まず、鳴門市郊外にある「ドイツ館」に行きました。ドイツ館は、第一次世界大戦で俘虜（捕虜）となって日本に移送されたドイツ兵士の暮らしや地域の人々と



ドイツ館 板東俘虜収容所ジオラマ

の交流の様子を世に伝え、ドイツとの国際交流を深める目的で創設されました。

収容所には、商店や別荘、ホール、劇場など活発な活動が行われていました。地域の人は、アジアで初めてのパートーベンの交響曲第九番の完全演奏、俘虜たちの進んだ技術や文化に触れ、友好が深まってきました。こうした温かい交流ができたのは、当時の松江豊寿所長が俘虜を犯罪者のように扱うことを固く禁じたためと言われています。

次に訪れた阿波十郎兵衛屋敷では、親子の情愛を描いた「傾城阿波の鳴門」の上演を観賞しました。実際に人形遣いの体験もさせて



第17号  
編集発行  
枚方人権  
まちづくり協会

いただき、表現の難しさを感しました。

参加者は、戦時中にドイツ俘虜の人権が配慮されていたことに感動し、温かい気持ちで帰途につきました。



### 「差別落書き」のない街、枚方へ

「障害者差別解消法」「ハイトスピーチ解消法」「部落差別解消法」のいわゆる「人権三法」が施行さ

れ三年が経ちました。しかし、未だに市内において、「差別落書き」が発見されています。



これら三法は、いずれもその条文で地方公共団体に「啓発活動」を求めています。枚方市もこれを受け、議会会で「あらゆる差別を許さない」という強い姿

勢で、人権尊重のまちづくりに取り組んでまいります（市長）と答え、「啓発に取り組み」としています。落書きは消すことが出来ますが、そのことによって傷つけられた人の心の傷はなかなか消えません。時には一生消えないこともあるかも知れません。だからこそ、市民の理解が拡がり、枚方市が「差別落書きのない街」となり、すべての市民の人権が一層尊重されることを求められています。

### 枚方人権まちづくり協会の相談事業

- |   |   |
|---|---|
| <p>〈人権まちづくり協会〉<br/>サンプラザ1号館5F<br/>TEL 072-844-8788</p> <p>[人権なんでも相談]<br/>月～金 9:00 - 17:30<br/>ただし、第2火 12:45-17:30<br/>第4木 12:30-17:15</p> <p>[地域就労支援相談]※<br/>月～水・金 9:00-17:30</p> <p>[進路選択支援相談]※<br/>火 13:00-17:00<br/>18:00-20:00</p> <p>[福祉なんでも相談]<br/>月～金 9:00-17:30<br/>専用電話 072-844-8866</p> | <p>〈男女共生フロア・ウィル〉<br/>サンプラザ3号館4F<br/>TEL 072-843-5636</p> <p>■女性のための相談<br/>[電話相談]<br/>火 15:00-20:00<br/>水 13:00-17:00<br/>木 10:00-15:00<br/>専用電話 072-843-7860</p> <p>[面接相談]※<br/>水 13:00-16:10<br/>木 14:50-19:30<br/>金 10:00-15:00</p> <p>[法律相談]※<br/>第1土・第2金 13:20-15:50<br/>第3木 17:20-19:50<br/>第4火 10:20-12:50</p> <p>■男性のための電話相談<br/>第1土 14:00-17:00<br/>第4木 18:00-20:00<br/>専用電話 072-843-5730</p> |
|---|---|

※の相談は予約が必須です。それぞれの施設に電話してください。

当協会自主事業 人権講演会

「見た目問題」アルビノって何？」



映画「ケアニン」を上映

九月一八日「ケアニン」あなたでよかった」を上映し、二三五人の参加がありました。小規模介護施設で働き始めた介護福祉士の青年が、認知症の高齢者とのコミュニケーションに悩みながらも、少しずつ関係性を深め、いつしか本気で向き合えるよう成長する姿に、多くの参加者が感動されていました。



十月二四日、『見た目問題』をテーマに、数本舞さんによる講演会を行い、市民等六五人の参加がありました。アルビノ（先天性眼皮膚白皮症）とは、生まれた時から目や皮膚に色素がない、あるいは極端に少ない状態の人たちのことです。アルビノ当事者である数本さんは中学校までは周りの気遣いの中で、いじめられることもなく過ごしてきましたが、見えない壁を感じ

ていました。高校に進学し、「見た目」を理由にアルバイトができない、視力が悪く自動車免許が取れないなど、挫折を経験します。みんなができることができないのであれば、自分にかできないことで生きていきたいと、芸術大学に進学して自分を表現できるようになったといいます。

そうした中、初めて自分以外のアルビノの方に出会い、同じ悩みやつまずきを持ちながら、それぞれが頑張っていることを知りました。そして、アルビノの人たちの交流、情報交換の場として、アルビノ・ドーナツの会を設立。また「見た目問題」に取り組むNPO法人とも出会い、全国に活動の輪を広げられています。

参加者からは、「当事者である数本さんの生の声が

枚方人権まちづくり協会では、枚方市からの委託により各種相談窓口を開設しています。

進路選択支援相談

高校や大学などへの進学を希望しているが、経済的な理由で進路が閉ざされていると悩んでいる方、おられませんか。

進路選択支援相談では、進路選択に関する相談を親身になってお受けしています。具体的には、高校等の授業料無償化制度や大学等の授業料減免制度の説明、奨学金、教育資金の準備などの情報提供をしています。

保護者の方の相談が多いですが、お答えする際は、進学を希望する生徒さんが、積極的に自分の進路を考え将来に展望が開ける支援となるよう心掛けています。必要に応じて、相談者の了解のもと、学校や関係機関と連携して支援を行うこともあります。

相談者の個人情報が増えるということはありません。保護者の方、生徒本人さんだけでも構いませんので、お気軽にご相談ください。

相談は予約制です。予約時に相談内容をお伝えいただければ、的確なお話しができると思います。まずは枚方人権まちづくり協会にお電話をしてください。

会員随時募集

枚方市を市民一人ひとりの人権が大切にされるまちへ。（年会費1口 1000円）

NPO法人 枚方人権まちづくり協会

TEL:072-844-8788 FAX:072-844-8799